

「これからの社会を生き抜くための力」の育成を目指して ～学びを深める実践的・体験的な活動を取り入れた指導法の工夫～

宮城県登米地区技術・家庭科研究会

1 はじめに

登米市は、県の北西部に位置し、稲作・畑作・畜産業などの第一次産業が盛んな地域で、地場産品の販売が盛んに行われています。また、市の中心部においては、スーパーやホームセンター、電化製品などの専門店が進出し、日常の生活用品や情報の調達には事欠くことのない環境にあります。

登米地区では、県の研究テーマに沿い、「これからの社会を生き抜くための力」の育成を目指して～学びを深める実践的・体験的な活動を取り入れた指導法の工夫～を研究主題として、研究を進めてきた。

本地区では、部員の少ない中、消費生活について外部講師を招いて指導者側の研修会を開いたり、各校の実践を持ち寄って情報交換するなど研修したりすることで研究を深めてきた。

2 研究のねらい

(1) 「これからの社会を生き抜くための力」の捉え

- ① 生活と技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能
- ② 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力
- ③ よりよい生活の実現のため、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度

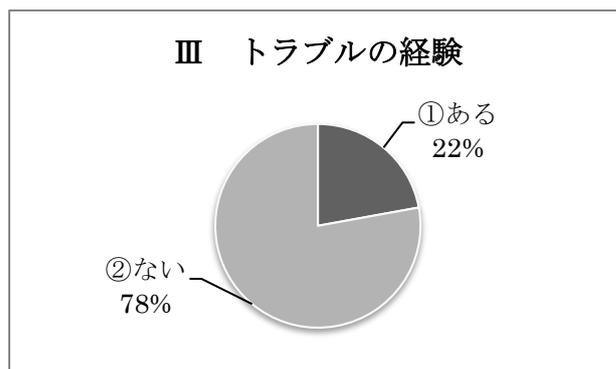
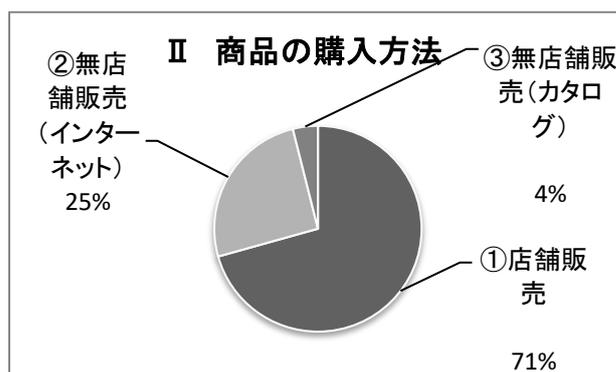
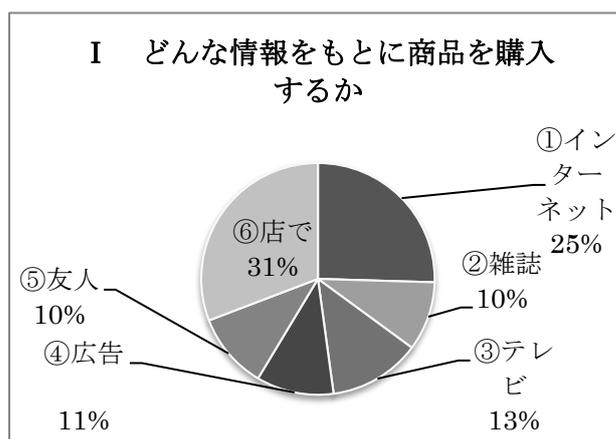
(2) 研究の視点

- ① 指導の手立てを明確にした授業づくりと授業実践
- ② 題材指導計画の検討・整理
- ③ 「つながり」を明確にした教育活動

(3) 実態調査

生徒の商品購入に関する実態を把握するためにアンケート項目を検討し、実施した。

(平成 30 年 1 月、登米市内 9 校、536 名)



購入時のトラブルの具体的な内容

- ・表示内容不足（価格、材質など）10人
- ・表示と実物が異なる（サイズ、デザイン、品質など）20人
- ・アフターサービスについて（返品手続きなど）3人
- ・配送（梱包など）3人

IV商品を購入するときに、気を付けていることは何か(自由記述)

- ・本当に必要なものか。 ・必要以上に買わない。
- ・使いやすさ。 ・買った後の自分を想像する。
- ・スマホに対応しているか。 ・外観
- ・価格は適当か。 ・破損や汚れがない
- ・信頼できるサイトや店か

アンケートの結果から、インターネットを使用した商品の購入が多くなっていることが分かる。また、情報を得るためにインターネットで調べ様々な情報をもとに店舗で購入している割合が多い。買い物をする場所は店舗購入が多いものの、インターネットでの買い物も25%となっている。アンケートの結果から、商品についての情報収集のためのインターネットの使用に重点をおいた年間指導計画を作成することが重要であると考えた。

3 研究の内容

実践1

(1) 視点1 指導の手立てを明確にした授業づくりと授業実践

手立て1 生徒の学びを促す適切な学習課題の設定

① 題材名

「消費者トラブルを解決する方法を考えよう」
～気を付けよう！トラブル事例～

② 題材のねらい

インターネットショッピングやサイト利用におけるトラブルの事例とその解決方法について考ええることができる。

③ 具体的な指導

生徒の実態から、ネットショッピングトラブルの被害に遭った生徒がいることが分かる。

ネットショッピングは、今や仮想世界の話ではな

く、地域や年齢も関係なく、実生活において日常的に起こり得る事案といっても過言ではない。そこで、ネットショッピングやサイトを利用する時の、安全で責任ある行動について理解させるため、事例を提示しながらネットショッピングの長・短所、利用する時の留意点等についてワークショップ型の授業を行った。(図1)

授業では、①事例の問題点の整理②前払いの申込に対して商品がこない時の行動、③トラブルに遭った時の行動、④トラブルを避けるための姿勢等、ポイントを絞って授業を進めた。

授業の振り返りでは、「前払いではなく、後払いの商品を選ぶ」「本当に必要なか確認する」といった生徒の感想が多く見られた。

気を付けよう！インターネットショッピング		
年 組 番、氏名		
1	中学3年の兄は、なぜこのサイトを信用したのだろう。理由を考えてみよう。	
<input type="text"/>		
2	なぜ商品は届かなかったのだろう。このサイトの仕組みを考えてみよう。	
<input type="text"/>		
3	怪しいサイトかどうか、どうしたら見分けられるのだろう。(具体的に)	
<input type="text"/>		
4	ネットショッピングを利用する時には、どんなことに気を付けていけばよいだろう。自分の考えをまとめてみよう。	
	何を	どんなふうに
<input type="text"/>		
5	トラブルにあった時どうすればよいか、具体的にまとめてみよう。(今日の授業から分かったこと、感じたことも含む)	

図1 ワークシート

実践2

手立て2 生徒の考えを比較・検証する場面の設定

① 題材名

「商品の選択と購入について考えよう②」

② 題材のねらい

商品の選択と購入の仕方についてのまとめとして、商品購入のシミュレーションを行っている。情報の収集と方法に力を入れ、実際に購入すると仮定して選定させ、実生活に生かせるようにする。

③ 具体的な指導 (図2)

ア 情報の収集

5	消費者トラブルを解決する方法を考えよう①～気をつけよう！トラブル事例～	・インターネットショッピングやサイト利用におけるトラブルの事例とその解決方法について考えることができる。 実践1
6	消費者トラブルを解決する方法を考えよう②	・消費者トラブルを解決する方法として、消費者を守る法律や相談機関があることを知る。
7	消費者の権利と責任について考えよう	・消費者の権利と責任について理解できる。
8	よりよい消費生活を目指して	・消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活について考えることができる。

(3) 視点3 「つながり」を明確にした教育活動（カリキュラム・マネジメント）

県民サービスセンター（宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所）の方を講師に、消費者トラブルについての講話をしていただき、消費者教育についての研修を行った。

内容は、「商品の選択」「契約」「実際のトラブル例とその対応」について、生徒向けに講話するのと同様のスタイルで行っていただいた。契約を結ぶという内容については、ロールプレイングを取り入れ、生徒の立場で我々部員も考えることを実践した。

消費者トラブルで、急増しているのがネットショッピングでのトラブルである。講話では、実際にあったトラブルを再現したドラマを見ながら、ドラマの中での問題点を考えた。ドラマの登場人物や構成が中学生と等身大であり、授業で活用すれば、生徒は自分自身に当てはめて考えやすいものであった。

講話の内容が、家庭分野の教科書の内容と対応しており、提供していただいたリーフレット等は、広く一般的に配布されている物であるが、中学生にも内容が分かりやすく、授業を補足す

る資料としても有効である。ゲストティーチャーによる出前授業をお願いしたり、資料を提供したりしてもらうことを年間計画に入れていくと良いのではないかと話し合った。また、ワンクリック詐欺を始めとしたネット上での架空請求の経験がある生徒もおり、身近にあるトラブルであり、被害を防ぐ消費者教育の必要性の高さが話題となった。



一斉研修（会場 登米市立石越中学校）

4 成果と課題

授業実践から、ワークシートを活用して自分の考えを整理し、友達と話し合いながら考えを深めることができるようになり、更には学び合いながら考えを共有することができた。また、商品についての情報収集のためのインターネットの使用に重点をおいた授業では、情報の収集として、はじめは広告を使用していたが、新聞を取っていない家庭も多く、インターネットを使つての検索も行った。規制があり調べにくい面もあったが、手順を踏み調べ方の練習を行うことにより、考えも深まり、今後の消費活動に生かせるよいきっかけとなった。

今後の課題としては、「社会環境の変化に応じた課題の工夫」「実生活において継続して実践できる指導法の工夫」「教師の柔軟な発想の転換」が挙げられる。今後も、研修会や情報交換を積極的に行い、本地区で共有できる教材等の作成に取り組んでいきたい。